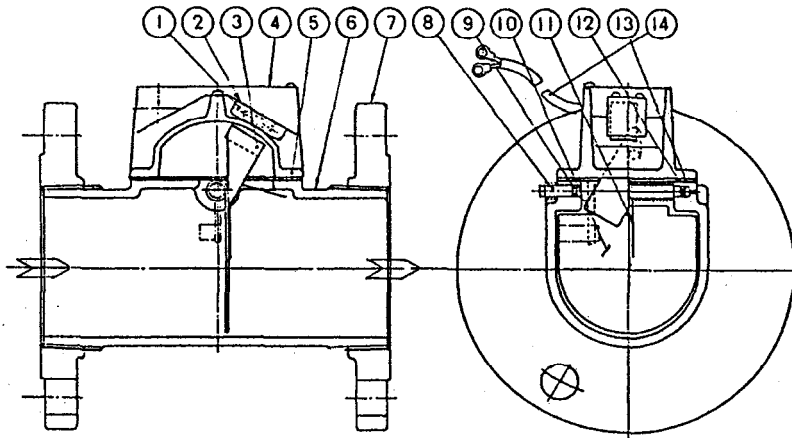


OPERATION MANUAL

TYPE: **FMR/FRMR FLOW SWITCH**

★逆流させると破損します。逆流させないでください。



番号	部 品 名	個数
1	リードスイッチ	1
2	ブラケット	1
3	マグネット	1
4	カバー	1
5	スイッチボックス	1
6	ボディー	1
7	フランジ	2
8	スピンドル	1
9	"O"リング	2
10	フラッパー	1
11	スプリング	1
12	ガスケット	1
13	リテーナー	1
14	コード	2

構造：

流路内のフラッパーが、スピンドルを軸にして流量の多少に応じてスイングし、その端に組み込まれたマグネットがスイッチボックスの壁裏のリードスイッチと遠近して接点が開閉します。スピンドルにはピンがささっており、スピンドルを回すことにより外部からフラッパーを押し上げることができますから、減流時にスイッチの動作や電気回路のチェック、また、スピンドルとフラッパーの間のスティック防止に使用できます。

配管：

- ①流れ方向矢印に従って、傾かないように接続して下さい。
- ②水平・垂直配管はそれぞれ専用の機種がありますから正しく使用して下さい。(銘板表示)
- ③配管フランジに無理な矯正力を加えずに正しく接続できることを確認してからボルト締めを行って下さい。

配線：

- ①接点容量以上の負荷を接続しないように注意して下さい。また、突入電流、逆起電圧等も考慮して下さい。
- ②通電したまま接続作業をしないで下さい。

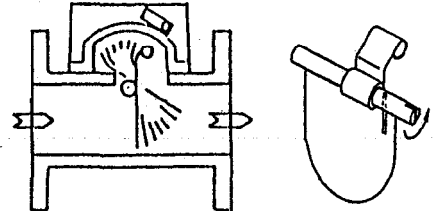
保守：

- ①フラッパーにゴミがからまったり、マグネット部にゴミが付いたりしますと正しく動作しません。その様な時は、4本の六角穴付きボルトを外してスイッチボックスを開け、掃除をして下さい。
- ②ガスケットには一部切欠を設けてありますので、開ける時にドライバー等を入れてゴジって下さい。
- ③下→上配管の時はボディーとスイッチボックス間がポケットになり流体中のゴミが溜まりますから開けるときは電気部にかからないように注意して下さい。
- ④組み立て時には、ガスケットの内側ゴム部が損傷していないことを確めて、外側のアスベスト部と重ならないように注意しながら組み立てて下さい。

スイッチ交換：

万一スイッチを焼損してしまった場合には、スイッチの位置に印を付けて、新しいスイッチを旧いスイッチと同じ位置に取り付けて下さい。その際、スイッチには無理な力を加えないようにし、スイッチの取り付いているブラケットも曲げないように注意して下さい。

●直管部は前後 3D あれば充分です。



正しい取付方 誤った取付方

